

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号515

発生場所

病室

精神・意識障害の有無

リスク

発生場所（その他）

有

B. 物の性能のリスク

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

関連したもの

点滴スタンド、
コード

発生内容の分類

自殺

発生内容

・鳴らないナースコール・離床センサーと同じ音のナースコール

概要

①精神分裂病で治療歴のある40代の男性患者が、外科病棟の多床室でナースコールを引きちぎり点滴台にかけ、首吊り自殺をしようとした。ナースコールは壁の差込口にしっかり接続されていたが、鳴らなかった。偶然同室でケアしていた看護師が発見して事なきを得た。その後、ひも状のナースコールは危険で付けられなかった。②未遂後再発防止のため、離床センサーを設定したが、看護師曰く鳴らした際ナースコールと離床センサーが同じメロディーのため選択的に動けない。

要因

①は断線時警報が鳴って欲しい。ひも状でないナースコールが欲しい。②はナースコールのメロディーが変更できないか調査中。

対策

医療安全カンファレンスで共有し、ナースコール音の変更を検討中。

参照

